2020年7月16日(木)

/ 日刊工業新聞

第3種郵便物認可

汉

数

て味は遺 連のノウ

も提供す 機工業は に乗り出 酒造会社 i化と働き をしてい

健一郎

値

管 理 で品質安定 ・職 場 改善

41

県内の産業構造との親和性 はどこか。3Dものづくり 器を保有する意義は何か。 プロジェクト室長 3Dものづくり推進

でいる。

石こうは伝統工芸

造解析や治具の製作に用い がメーンで、性能評価や構 舟 田 義則氏

は曜日替わりです

ほか、中・大型機のラ が必要と判断した。小 型機を中心に展示する たため、製品展示のほ 選別機など機種が増え 専用のテスト環境

の展開などを聞いた。

中、一機械の力で廃プラの再生力を高める」と語る木口社長に今後

クル材料の品質を高めて用途を拡大、マテリアルリサイクル率の向

販売を手がける。粉砕や選別など各工程の機械を提供してリサイ

-00) は、廃プラスチックのリサイクル(再生利用)装置の製造

木口達也社長、048·298·7

日本シーム(埼玉県川口市、

上につなげる。海洋に漂うプラスチックゴミの問題が深刻化する

て設置した。粉砕機や 塚境を備えたショ ール ムを開設しました。 「本社敷地を拡張し 4月に製品テスト

て、顧客の課題解決に のテストが可能だ。新 装置の開発にも役立

す。 にペットボトルを投入

望に応じた生産ライン (さいたま編集委員・清水耕一郎) 提案を強みとしていま ―生産ラインの一括 「ベルトコンベヤー

れができるのは日本で な市場だ。だが、リサめて提案している。こ 合が少ない分、ニッチ ・粉砕して洗浄、比重 選別というようにまと単体売りと異なり、競

数社しかない。製品の

な問題があるためだ。 れは日本の処理能力の どに回されている。こ 問題ではなく、技術的

しか再利用さ 残りは焼却な れていない。 ばよいが、現 イクルできれ テリアルリサ 課題は何で す 「すべてマ

きたい」 ルする上での れを極めてい れるため、 専門性が磨か ーリサイク

えたショール イクル装置の スト環境を備 ムを設置し







ラの選別精度 99%に

イクルしづらい。ポリ などの混合プラはリサ チックや多層フィルム としたり、リサイクル んでいますか。 材料の質を上げること 高めたり、含水率を落 機械の力で選別精度を で代替製品の用途を広 ー具体的な開発は進 一金属付きのプラス プロピレンをポリプロ

年内にも達成したい」 の選別精度を現在の90 ストでしっかり選別で める機械を開発する。 %から9%ぐらいに高 そのためにも混合プラ サイクル率は上がる。 きるようになれば、リ ればゴミになる。低コ ができれば資源、 混ざ 6割焼却 どこまで改善

「売り上げにとらわれず、世 の中にないものをつくる」と木 口社長。最近は金属付きプラを

日社技の 版別は近隣内さノフを 粉砕したり、充填剤入りプラの 歩留まりを高めたりする機械を 相次ぎ開発した。顧客の運用コストを抑え、 純度の高いリサイクル材料を生み出せるかが 重要。日本で生じる廃プラは年900万%だ が、約6割は焼却されているという。廃プラ の再生利用を進めるための技術や機械の開発 で、どこまで比率を改善することができるか 注目したい。

あす金曜日は『販売・サービス』